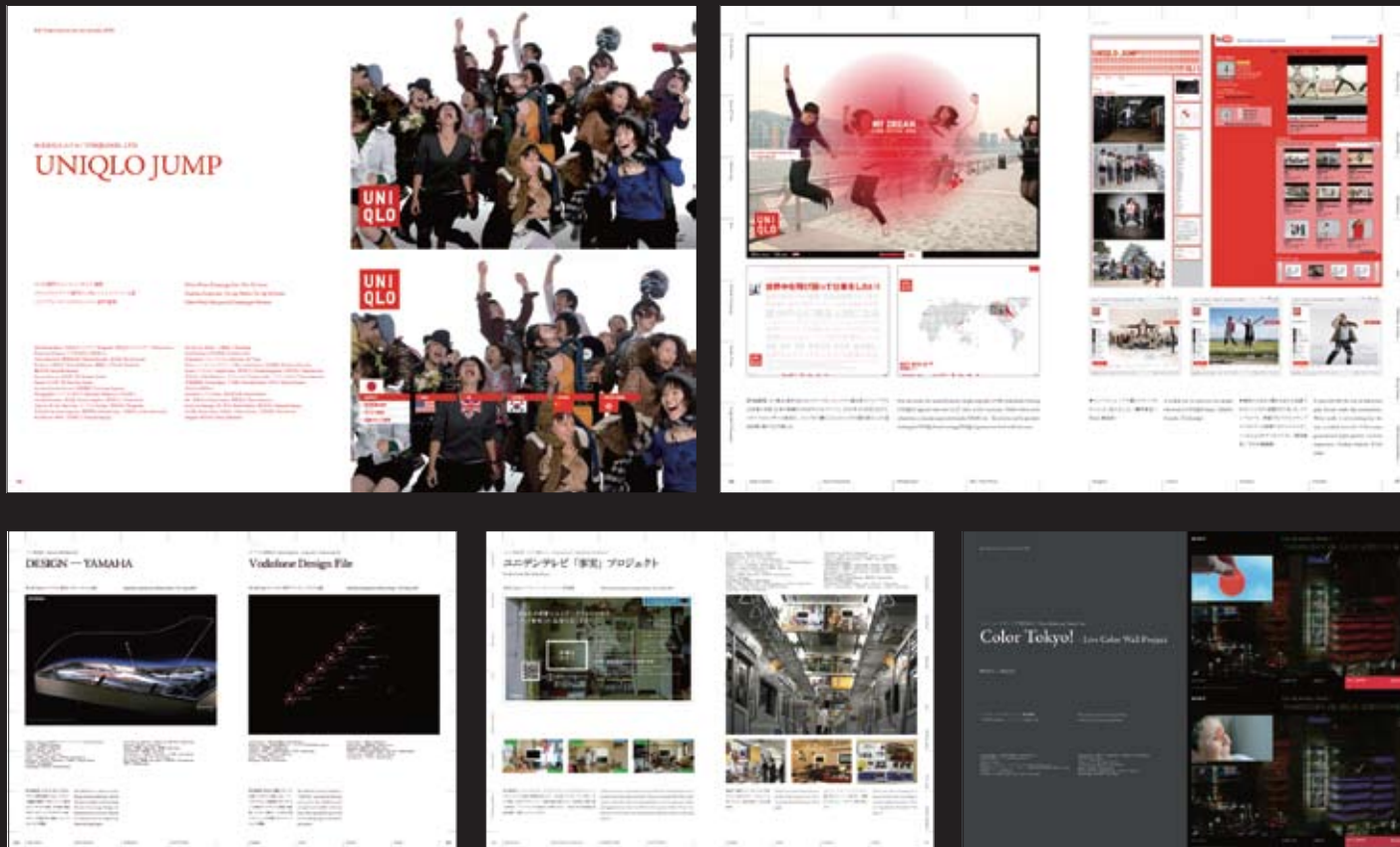


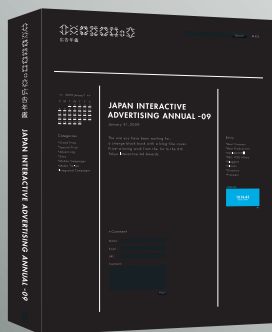
「東京インタラクティブ・アド・アワード (TIAA)」 受賞作のすべてをアーカイブ化。

TIAAの2008年度受賞作67作品を中心に、過去5回の主要受賞作34作品を加えた101作品を紹介



紙面イメージ ※現在制作中の紙面イメージにつき実際の紙面と異なる場合があります。

2009年
2月3日
発売予定



インタラクティブ広告年鑑

JAPAN INTERACTIVE ADVERTISING ANNUAL -09
tokyo interactive ad award.jp編
(東京インタラクティブ・アド・アワード編)

- 定価9,450円(本体9,000円+税) ■A4判上製/320ページ(予定)
- 発行:株式会社インプレスジャパン
- 発売:株式会社インプレスコミュニケーションズ
- ISBN 978-8443-2655-7

※詳しい内容は裏面をご覧ください

世界が認める日本の
インタラクティブ広告のアーカイブ。
日本の最高峰である「東京インタラクティブ・アド・アワード」
(TIAA)の受賞作品と、その「つくり手」の声をまとめた
日本初のインターネット広告年鑑が登場。
カンヌ国際広告祭でグランプリを獲得した
「UNIQLOCK」ほか、名だたるWebキャンペーンの歴史、
トップクリエイターや業界論客のインタビューなどが
詰まった記念碑的1冊。
少量出版につき、どうぞお早めにお求めください。

絶賛
ご注文
受付中

事前予約のご案内 定価 **9,450円**(税込)
初版少量出版 品切れ/受付終了時はご容赦下さい。

ご注文はこちらから ▶ <http://direct.ips.co.jp/tiaa/> 直販サイト「インプレスタイル」にて

インタラクティブ広告年鑑

JAPAN INTERACTIVE ADVERTISING ANNUAL -09

クリエイターのみならず、Webマーケターや企業経営者、学生といった「インターネット文化」に関わるあらゆる人たちの参考になる、インターネット広告の歴史をまとめた日本初の年鑑です。

C O N T E N T S

ごあいさつ (審査員長 大岩直人)

目次

東京インタラクティブ・アド・アワード (TIAA) とは

- * 東京インタラクティブ・アド・アワードとは
- * 第6回東京インタラクティブ・アド・アワード概要
- * 作品部門
- * 第6回東京インタラクティブ・アド・アワード部門別応募作品数および受賞作品数
- * 第6回TIAA受賞作品および入賞作品

第6回TIAA特別賞

- ・ベストクリエイター賞
 - * 作品紹介
 - + [記事] ベストクリエイタートーク (GT: 伊藤直樹×projector: 田中耕一郎)
- ・ベストインタラクティブプロダクション賞
 - * 作品紹介
 - + [記事] ベスプロトーク (ノングリッド: 小池博史×セミトラ: 田中良治)
 - + [記事] ベスプロコラム (パスキュール: 朴正義)

第6回TIAA受賞作品

- ・グランプリ
- ・金賞、銀賞、銅賞、入賞
 - + [記事] 「田中耕一郎からの3つの質問」(MONSTERFILMS: 羽鳥貴晴、BILCOM: 菅原良太、roughark INTERAKTIV: 杉原崇之)
 - + [記事] REC YOU批評 (広告批評: 河尻編集長)
 - + [記事] プロガートーク (「29man」 渡辺英輝×「広告会議」 川口聡×博報堂: 須田和博×「インターネット広告のみみつ」 太駄健司)
 - + [記事] クライアントトーク (ユニクロ: 勝部健太郎×ナイキ: 蓑輪光浩)
 - + [記事] ディレクタートーク (中島信也×江口カン×児玉裕一×柴田大輔)
- ・審査員総評 (大岩直人、阿部晶人、伊藤直樹、鎌田貴史、川口清勝、木田広大、北村久美子、田中耕一郎、中村洋基、福田敏也、中島信也)
 - + 広告会社、制作会社URLリスト

第1回~5回までのTIAA受賞作品

- * 第1回TIAA受賞作品 (グランプリ、特別賞、金賞)
- * 第2回TIAA受賞作品 (グランプリ、金賞)
- * 第3回TIAA受賞作品 (グランプリ、金賞)
 - + [記事] パイオニアトーク1 (電通: 大岩直人×777interactive: 福田敏也)
- * 第4回TIAA受賞作品 (グランプリ、ベストクリエイター、ベストプロダクション、金賞)
- * 第5回TIAA受賞作品 (グランプリ、ベストクリエイター、ベストプロダクション、金賞)
 - + [記事] パイオニアトーク2 (電通: 杉山恒太郎 × 電通: 中村洋基 × カイブツ: 木谷友亮)
- * JIAAとは
 - + 翻訳者紹介、制作スタッフリスト

※内容は一部変更になる可能性もございます。あらかじめご了承ください。



●日本が世界に誇る分野であることを考慮し、すべての記事を日本語と英語によるバイリンガル (2カ国語) で掲載